

株主のみなさまへ

第166期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日



おかげさまで、創立110周年を迎えることができました。

平素は、当社グループの事業運営につきまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善が進む中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。海外経済の不確実性や通商問題を巡る緊張の増大、金融資本市場の変動の影響等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは、株主さま・お客さま・地域社会等の全てのステークホルダーの皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループをめざし、懸命な努力を重ねてまいりましたが、おかげさまで、本年10月をもちまして創立110周年を迎

えることができました。これもひとえに、全てのステークホルダーの皆さまのご支援の賜物と深く感謝申し上げる次第であります。

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、原料費調整によるガス販売単価の上昇や卸供給等の販売量の増加等により、前年同期に比べ6.3%増加の38,427百万円となりました。利益については、売上高の増加等により、連結経常利益は前年同期に比べ1,245百万円増加の1,071百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は841百万円増加の555百万円となりました。

中間配当金につきましては、株主の皆さまに感謝の意を表すとともに、創立110周年を記念いたしまして、1株当たり50銭の記念配当を実施することいたしました。

この結果、1株当たりの中間配当金は、普通配当4円とあわせて4円50銭となり、お支払い開始日を12月2日とさせていただきます。

当社グループを取り巻く今後の経営環境は予断を許さないものの、引き続きグループ一丸となって業績向上に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

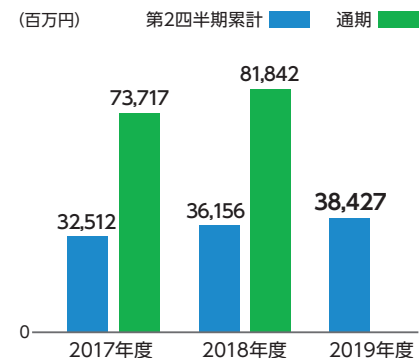
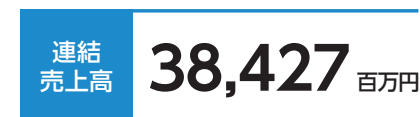
2019年11月



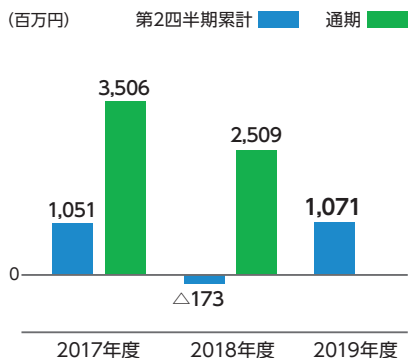
代表取締役社長

松藤 研介

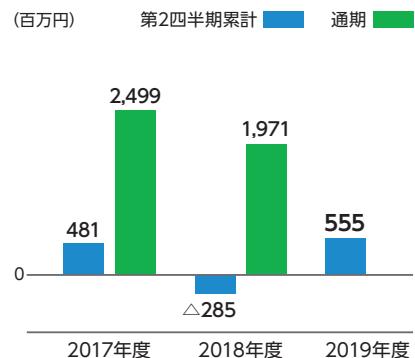
第166期第2四半期の経営概況



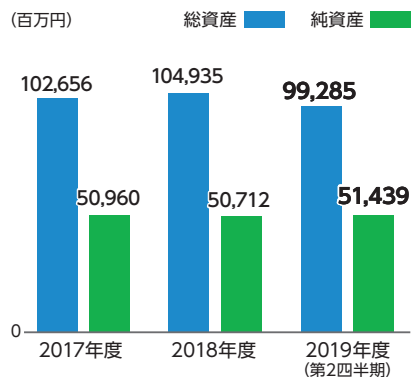
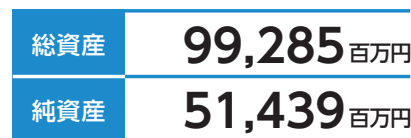
原料費調整によるガス販売単価の上昇や卸供給等の販売量の増加等により、前年同期に比べ6.3%増加しました。



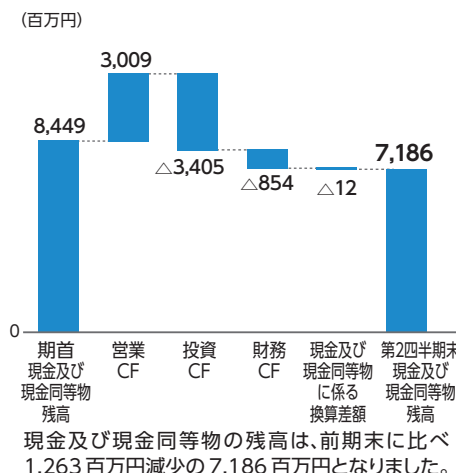
売上高の増加等により、前年同期に比べ1,245百万円増加しました。



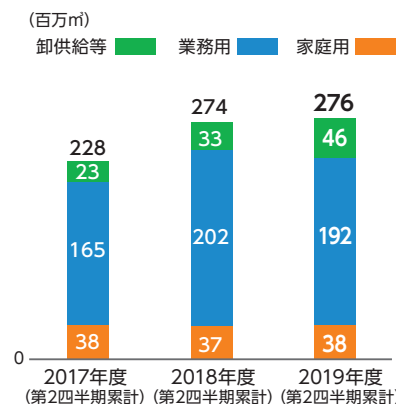
親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ841百万円増加しました。



総資産は季節要因による売上債権の減少等により、前期末に比べ5.4%減少しました。純資産は、繰延ヘッジ損失の減少や利益剰余金の増加等により、前期末に比べ1.4%増加しました。



現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ1,263百万円減少の7,186百万円となりました。



卸供給先の既存需要家への販売量の増加等により、前年同期に比べ1.0%増加の276百万m³となりました。

廿日市工場、廿日市市一般廃棄物処理施設との熱融通事業がスタート

4月1日(月)から、廿日市工場と工場に隣接する一般廃棄物処理施設「はつかいちエネルギーグリーンセンター」との熱融通事業が開始されました。

廃棄物処理施設から発生する排熱を、廿日市工場のLNG気化熱源として利用することにより、都市ガス製造における燃料使用量が削減され、環境負荷・製造原価の低減に大きな効果を生むことが期待されます。また、近隣の事業所同士で熱を融通することにより、地域での環境負荷低減に貢献しています。

今後は、運転状況の監視や実績の評価を適宜実施し、より効率的・効果的な運用を推進してまいります。



▲ 廿日市工場側から、「はつかいちエネルギーグリーンセンター」を臨む

日頃の実力、成果を十分に発揮。 「2019年保安技能大会」を開催

7月5日(金)、広島ガス防災センター駐車場において「2019年保安技能大会」が開催されました。本大会は広島・呉・尾道地区の供給保安要員を対象に、供給保安技能のスキルアップはもとより、保安強化・緊急時対応についての意識向上、現場力向上を目的に2010年から開催しており、本年度で10回目となるものです。

各部署を代表する4チーム(16名)が参加し、多数の見学者が見守るなか、適度な緊張感をもって競技が進行し、各チームとも、指差呼称の徹底、安全環境確認による基本作業の遵守を再認識しつつ、日頃の実力、成果を十分に発揮することができました。



▲ 日頃の鍛錬の成果を披露する参加者

「働き方改革実践企業」の 認定を受ける

9月5日(木)、広島商工会議所にて「第5回広島県働き方改革実践企業認定制度」認定証授与式が開催され、当社は「働き方改革実践企業」の認定を受けました。本認定制度は、広島県商工会議所連合会および広島県商工会連合会が運営し、県内企業の働き方改革の取り組みを推進することを目的に、2017年5月に創設された制度です。当社はこれからも、「働き方改革実践企業」として、働き方改革の取り組みを更に推進してまいります。



▲ 広島県商工会議所連合会の深山会頭(右)から、中川取締役へ認定証が手渡されました

備後工場、 操業開始 20 周年を迎える

1999年5月竣工の備後工場が操業開始20周年を迎えました。サテライト方式により尾道・三原地区に都市ガスを供給する基地として建設された備後工場は、コストや運転面でメリットがある大型の縦置円筒形貯槽(600kℓ×2)を備えるという特徴を持っています。これは当時LNG用としては世界初の事例で、2000年度日本ガス協会技術賞を受賞しています。

操業以来無事故で20周年の日を迎えた備後工場は、今後も尾道・三原地区のお客さまに安心、安全なガスをお届けし、地域の皆さまから信頼される工場をめざし操業してまいります。



▲ 操業開始から 20 周年を迎えた備後工場

バドミントン部・下田選手、 第 62 回全日本社会人選手権大会 シングルス優勝!

当社バドミントン部は現在、バドミントン実業団の最高峰リーグ・S/Jリーグに所属し、全日本実業団選手権をはじめ、多くの舞台で活躍しています。8月30日(金)から福岡市で開催された第62回全日本社会人選手権大会では、女子シングルスで昨年準優勝の下田菜都美選手が厳しい戦いのなか勝ち進み、見事優勝を果たしました。シングルス優勝は、当社バドミントン部創部以来、初の快挙です。11月2日(土)開幕のS/Jリーグで奮闘中の当社バドミントン部に、引き続き応援をいただきますようお願いいたします。



▲ 松藤社長に優勝の報告をする下田選手

「オーナーズ倶楽部」廿日市工場見学ツアーを開催

当社は供給区域内にて賃貸物件を所有のオーナーさまに対し、賃貸経営を応援させていただくことを目的に、「オーナーズ倶楽部」を運営しています。同倶楽部では、当社ならではのサポートをはじめ、会員さま限定の特典や、賃貸経営に役立つ最新情報の提供など、さまざまなサービスをご用意しています。

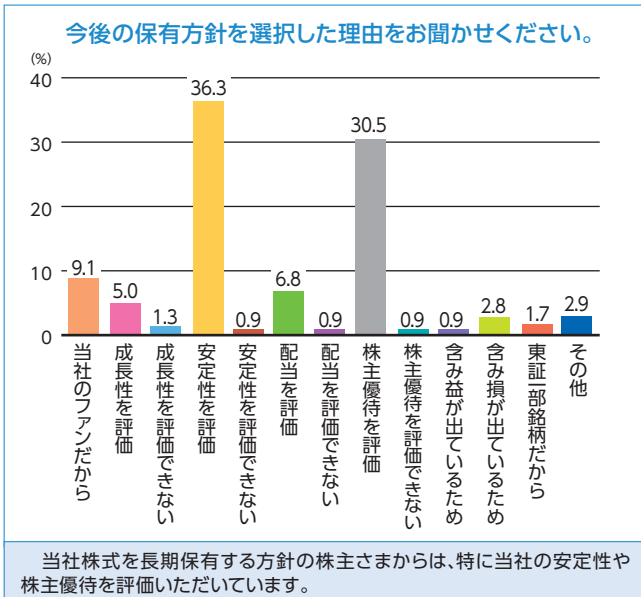
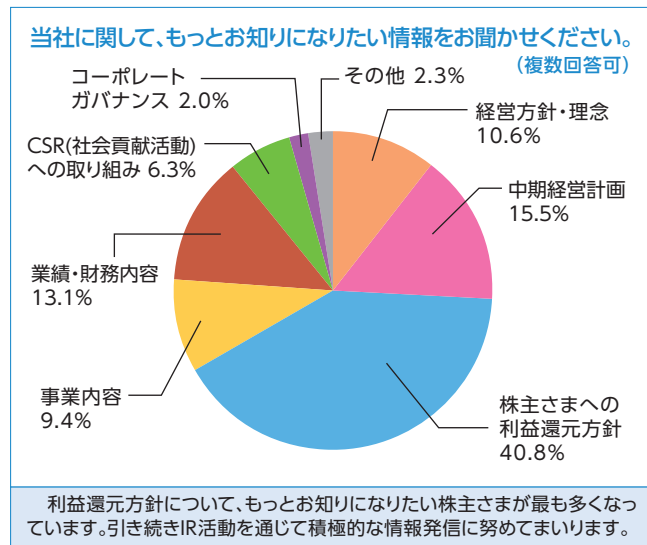
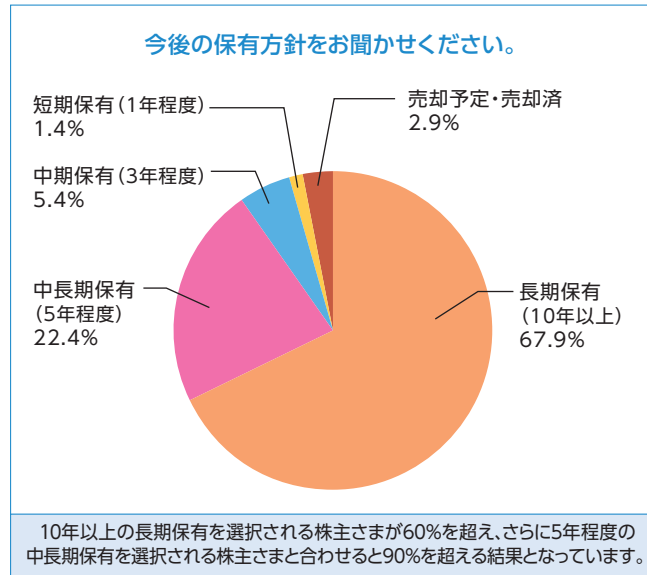
10月26日(土)には4回目となる廿日市工場見学ツアーを開催しました。廿日市工場見学から始まり、ガス展会場(広島グリーンアリーナ)に移動し、当社の製造・販売の活動を体感していただきました。この見学ツアーでの会員の皆さまの声を今後を活かし、よりオーナーさまのニーズに応えられる活動をめざしてまいります。



▲ 工場見学の様子

アンケート結果のご報告

当社は、株主の皆さまのご意見を伺うため、昨年に引き続き、本年6月にアンケートを実施させていただきました。アンケートでは、株主の皆さまから多くのご意見を頂戴し、心からお礼申し上げます。紙面の都合上、一部ではございますが、アンケート結果をご報告させていただきます。



株主さまからの声

安定的な事業を維持し、配当・株主優待を続けてほしい。

アニメPRとても気に入っています。安定成長へ努力宜しくおねがいます。

雨災害の多い広島県の基幹企業として頑張ってください。

今回も株主の皆さまから、多くのご意見を頂戴いたしました。本年度につきましても昨年度同様、2020年3月、個人株主さまを対象とした当社工場見学会を開催いたします。詳細は別紙「株主さま向け工場見学会のご案内」をご覧ください。

来年度以降もアンケートを実施してまいりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

会社の概況

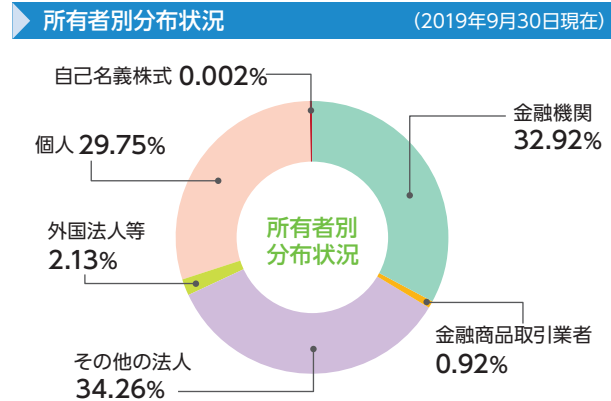
株式の状況 (2019年9月30日現在)

●発行可能株式総数	240,000,000株
●発行済株式の総数	67,998,590株
●1単元の株式の数	100株
●株主数	7,589名

大株主の状況 (2019年9月30日現在)

【株主名】	【持株数(千株)】	【持株比率(%)】
岩谷産業株式会社	7,607	11.18
明治安田生命保険相互会社	3,855	5.66
株式会社広島銀行	2,840	4.17
日本生命保険相互会社	2,376	3.49
広島電鉄株式会社	1,860	2.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,782	2.62
第一生命保険株式会社	1,780	2.61
西部瓦斯株式会社	1,420	2.08
千田興業株式会社	1,381	2.03
広島ガス自社株投資会	1,245	1.83

注) 1.持株比率は、自己株式(1,470株)を控除して計算しています。
2.株式会社広島銀行の持株数には、株式会社広島銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式2,430千株(持株比率3.57%)を含んでいます(株主名簿上の名義は「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・広島銀行口)」ですが、当該株式は、信託約款の定めにより、株式会社広島銀行が議決権の指図権を留保しています)。



会社概要 (2019年9月30日現在)

本社所在地	広島市南区皆実町二丁目7番1号
設立	1909年10月30日
資本金	5,181,500,096円
従業員数	669人
主要な事業内容	①ガス事業 ②ガス器具の販売 ③液化天然ガスの販売

役員 (2019年9月30日現在)

取締役・監査役		
代表取締役会長	田村 興 造	
代表取締役社長	社長執行役員 松藤 研 介	
取締役 常務執行役員	谷村 武 志	
取締役 常務執行役員	中川 智 彦	
取締役 執行役員	小原 健太郎	
取締役 執行役員	田村 和 典	
取締役 執行役員	大和 弘 明	
取締役	棕田 昌 夫	
取締役	北前 雅 人	
取締役	畝川 寛	
取締役	池田 晃 治	
常勤監査役	高崎 知 晃	
常勤監査役	沖本 憲 一	
監査役	武井 康 年	
監査役	酒見 俊 夫	

執行役員

常務執行役員	久保 賢 司
常務執行役員	西 亀 信 宏
執行役員	沖田 康 孝
執行役員	脇田 康 孝
執行役員	吉 崎 直
執行役員	谷 秀 和
執行役員	平野 誠 宏
執行役員	船木 孝 哲

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 6月
基準日 定時株主総会 3月31日
 剰余金の配当 期末 3月31日
 中間 9月30日
 上記のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定める日
公告方法 日本経済新聞、中国新聞に掲載する
単元株式数 100株
証券コード 9535

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の
口座管理機関 同上
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 〒541-8502
 大阪府大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

株主さまへのご案内

1. 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 単元未満株式をご所有の株主さまにつきましては、ご所有の単元未満株式の買い取りを当社にご請求できる「単元未満株式買取請求制度」または単元株式(100株)にまとめるため、単元株式数に不足する数の当社株式の買い増しを当社にご請求できる「単元未満株式買増制度」のご利用が可能です。
4. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でのお支払いいたします。



広島市南区皆実町二丁目7番1号
<http://www.hiroshima-gas.co.jp/>



この報告書の印刷・
製本する際の電力
100kWhは、自然
エネルギーでまか
なわれています。

